

2025年7月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社バルニバービ

証券コード 3418



BALNIBARBI

1. 企業理念・会社概要	→	P.3～
2. 2025年7月期第3四半期 決算サマリー	→	P.8～
3. 2025年7月期第3四半期トピックス	→	P.14～
4. 成長戦略	→	P.17～
5. 今後の出店予定	→	P.21～
6. 株主還元	→	P.24～

VISION

食から始まる日本創再生—多くの人々が楽しく、豊かに暮らせる世界を目指して

「人々のライフスタイルに溶け込む地域に根ざした店づくり」をテーマに、その土地や場所でしかできない何ものかを創出することで、人が訪れ、時間を過ごしていただき、その地域に愛着をもち、さらには移り住み、地域とのコミュニケーションの中で『（再び）人が住みたくなる街づくり』を目指します。

WAY

食を通して「なりたい自分」になる

飲食業はお客様の心も満たす空間を創る仕事です。マニュアルに依存しない自由な環境で、一人ひとりが思う存分「個性」を発揮することで、食を通して「なりたい自分」を目指します。



私たちが目指す地方創生は、地域の皆様、スタッフ、その他のステークホルダーの皆様と、その街に本当に必要と思えることを時間をかけて考えていくことで、住みたいと思える街をつくること。その積み重ねに私たちが目指す「日本創再生」があると考えます。

マテリアリティとしての地方創生

当社の最大のマテリアリティは「食を起点とした社会課題への取り組み」です。中でも「地方創生への取り組み強化」を最重要課題と捉えています。

社会

食を起点とした社会課題への取り組み

● 地方創生への取り組み

従業員とのエンゲージメント強化

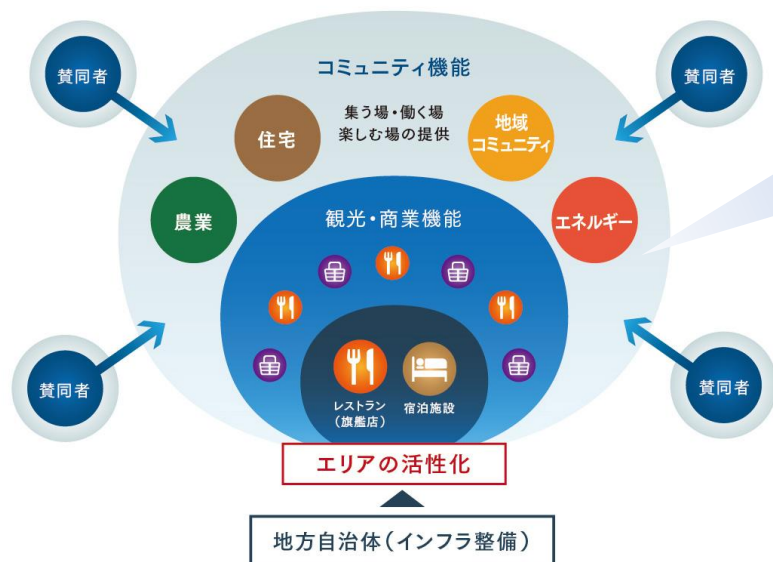
環境

気候変動への対応

資源循環の推進

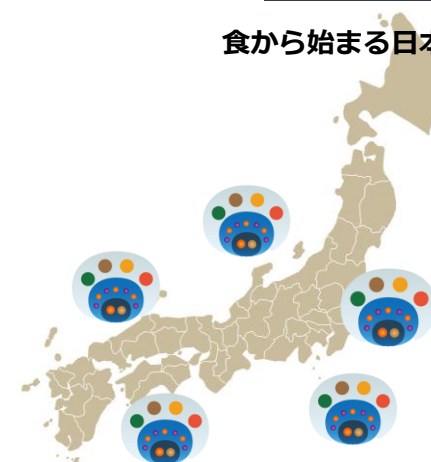
ガバナンス

リスク管理の強化



VISION

食から始まる日本創再生



食から始まる日本創再生を目指して

地方創生の開発エリア数は10年で7カ所以上を目標とします。そして、バルニバービが推進する地方創生を日本全国に展開していくことで「食から始まる日本創再生」を実現していきます。

初期段階での開発はレストラン旗艦店と宿泊施設の出店を行います。その後、地域の特性をみながら飲食店や物販・レジャー施設等の店舗・施設を出店することでエリアの活性化を目指します。

まずは淡路島をモデルケースとして地域のコミュニティ機能を強化していきます。住居の提供、農業支援や自立型エネルギーシステムの導入等により、最低限のライフラインを確保した地産地消・自給自足のビレッジ型エリア開発を推進し、機能開発したサービスや仕組みを徐々に他のエリアに展開してまいります。

会社概要

企業概要

会 社 名	株式会社バルニバービ		
設 立	1991年9月		
代 表 者	代表取締役会長 佐藤 裕久・ 代表取締役社長 安藤 文豪		
所 在 地	本店 大阪市西区南堀江 1-14-26 東京本部 東京都港区海岸3-9-15 LOOP-X 14F 大阪本部 大阪市西区南堀江 1-14-26 中澤唐木ビル		
資 本 金	16億800万円		2025年1月末現在
経 営 理 念	「食から始まる日本創再生」多くの人々が楽しく、豊かに暮らせる世界を創造する		
従 業 員 数	連結：社員数645名		2025年1月末現在
グ ル ー プ 店 舗 数	103店舗		2025年4月末現在
グ ル ー プ 会 社 (連結子会社 11社) (非連結子会社 2社)	(店舗運営子会社) 株式会社バルニバービインターフェイス 株式会社to-Compass バルニバービ・スピリッツ&カンパニー株式会社 株式会社バルニバービコンシスタンス 株式会社バルニバービウィルワークス 株式会社バルニバービイートライズ 株式会社バルニバービオーガスト 株式会社BAR Backs Brand 株式会社PIATTIBELLA 株式会社ヒトハナサカス 株式会社トウキョウイット 株式会社ジョイパーク（非連結子会社） 株式会社OPAS（非連結子会社） (事業子会社) 株式会社アワエナジー 株式会社エナビードゥーエ		
			2025年4月末現在

レストラン事業 ― 事業の収益構造

バッドロケーション戦略におけるバッドロケーションエリア、不動産デベロッパーエリア、行政・公共機関エリア、大学・その他エリア及びその他の事業における従来のレストラン事業として区分すべき店舗運営に付随する事業

直営店舗

■ロケーション

恵まれた周辺環境を店舗デザインに統合的に取り込むことで、気持ちのいい空間を創造します。

■店舗の特徴

特定のメニューへの依存度が低く、様々な用途に対応できるプランニングにより、経済環境の変化に強い安定した店舗づくりを行っています。



イーコマース（EC）サイト

■オンラインの販売チャネル

“食卓に彩りを添える特別な一品”をテーマに、ECサイトを開設。総料理長監修のミールキットやオリジナルスイーツなどを販売しております。

■オフラインとのシナジー創出

店舗が開発したオリジナルのミールキットなどを積極的にオンメニューし、オンラインオフラインでの相乗効果を狙います。



その他

■コンサルティング

企業、行政機関などに対して、地域ブランド振興、カフェやレストランの企画・開発等のコンサルティングを行っております。

■飲食事業での独立を目指すもののプラットフォーム

パーソナリティーを尊重した飲食店経営者の輩出プラットフォームを設立。単なるのれん分けではなく、当社の持つリソースを活用した店舗展開が可能となっております。



当社所有の販売用土地及び建物等の不動産又は権利における出店、賃貸、売買、コンサルティング、株式投資等に付随する事業

レストラン・宿泊

■食をベースに統合的なエリア開発

バッドロケーション戦略における出店で培ったノウハウや知見を元に、食をベースに統合的なエリア開発を推進。淡路島西海岸においては2019年春の地産地消を味わうレストラン開業を皮切りに、滞在することで美しい自然や島の暮らしを体感する宿泊施設、広い空と海に囲まれた場所でBBQを楽しむアウトドアパーク、淡路素材を使った中華そば店、地場水産会社との共同運営の回転寿司店を5ヘクタールの敷地にてファンドを活用して街全体のエリア開発を進行中。

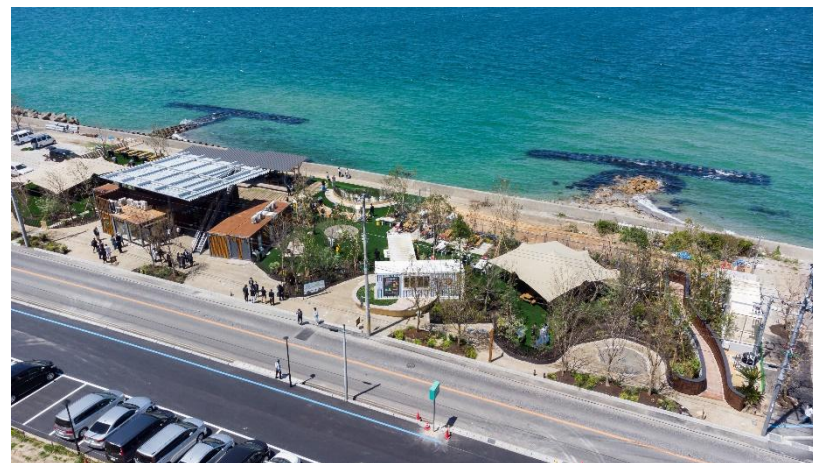


不動産の賃貸借・売却等

■エリア活性・不動産開発を目的としたパートナーシップ

不動産価値向上を目的としたアライアンスによるファイナンススキームとして、不動産SPC（特別目的会社）による出店を行う。

淡路島西海岸においては、淡路島のエリア不動産開発を目的に、開発資金拠出を企図しNECキャピタルソリューション株式会社と不動産SPCを設立（現在はSPCをグループ会社化しております）、島根県出雲市ではSBIグループとの連携によりSPCを活用した開発を展開中。



2025年7月期 第3四半期 決算サマリー

2025年7月期 第3四半期業績は、売上高 10,529百万円、営業利益429百万円で着地

売上高（前年比 106.5%）

- ・レストラン事業における客数の増加と価格改定による客単価アップにより好調に推移
（EB事業における販売用不動産売却は当第3四半期累計期間に 1 件、前第 3 四半期累計期間に 2 件ありました）

営業利益（前年比 83.1%）

- ・レストラン事業につきましては、光熱費や手数料などの経費増加や予定していた新店の見送りにより計画未達
セグメント利益は345百万円で着地（前年比108.9%）
- ・EB事業は販売用不動産の売却が一部遅延しており、セグメント利益は84百万円となる（前年比42.1%）

親会社株主に帰属する当期純利益（前年比 57.5%）

- ・上記営業利益の要因に加えて、前年の子会社吸収合併に伴う繰延税金資産の一時差異が解消

（単位：百万円）

	2024年7月期		2025年7月期			
	3Q実績		3Q実績		前期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	9,887	100.0%	10,529	100.0%	642	106.5%
営業利益	516	5.2%	429	4.1%	△ 87	83.1%
経常利益	521	5.3%	403	3.8%	△ 117	77.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	491	5.0%	282	2.7%	△ 208	57.5%

決算サマリー
連結損益計算書

(単位：百万円)

	2024年7月		2025年7月期				増減要因
	3Q実績		3Q実績		前年比		
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	増減率	
売上高	9,887	100.0%	10,529	100.0%	642	106.5%	
レストラン事業	8,629	87.3%	9,310	88.4%	681	107.9%	
バッドロケーション	2,624	26.5%	2,514	23.9%	△ 110	95.8%	前年度、複合商業施設「ミラー」売却によりシエロイリオ、リバヨン、プリバードをクローズ
不動産デベロッパー	3,993	40.4%	4,478	42.5%	484	112.1%	AOINAPOLI UMISOBAオープンによる影響など
行政・公共機関	1,554	15.7%	1,756	16.7%	202	113.0%	GARB GREEN WALKオープンによる影響など
大学・その他	276	2.8%	334	3.2%	57	120.7%	
その他	179	1.8%	227	2.2%	48	126.9%	
EB事業	1,258	12.7%	1,218	11.6%	△ 39	96.9%	TRATTORIA amaranciaオープンによる影響など
売上原価	2,612	26.4%	2,680	25.5%	68	102.6%	不動産販売を除く原価率は25.4%と1.0%低下
売上総利益	7,275	73.6%	7,849	74.5%	574	-107.9%	
販売費及び一般管理費	6,758	68.4%	7,420	70.5%	661	109.8%	
人件費	2,871	29.0%	3,093	29.4%	221	107.7%	不動産販売を除く人件費率は29.8%から29.7%へ
地代家賃	976	9.9%	1,007	9.6%	31	103.2%	
減価償却費	274	2.8%	367	3.5%	93	134.0%	新店出店の影響
水道光熱費	421	4.3%	484	4.6%	62	114.9%	電気代の値上や猛暑による使用料の増加
その他	2,214	22.4%	2,467	23.4%	253	111.4%	システム使用料や決済手数料などの増加
営業利益	516	5.2%	429	4.1%	△ 87	83.1%	
営業外収益	38	0.4%	21	0.2%	△ 17	54.9%	
営業外費用	33	0.3%	46	0.4%	12	137.4%	
経常利益	521	5.3%	403	3.8%	△ 117	77.5%	
特別損益	△ 1	—	0	0.0%	△ 2	—	
税金等調整前四半期利益	519	5.3%	404	3.8%	△ 115	77.8%	
親会社株主に帰属する当期純利益	491	5.0%	282	2.7%	208	57.5%	

2025年7月期 第3四半期出退店

- (出店)
- レストラン事業 &Ovo [東京都中央区]
 - エステートビルドアップ事業 amarancia cottage hugging nature house [兵庫県南あわじ市]
- (退店)
- レストラン事業 瀬戸内淡路島 中華そばいのうえ [長野県北安曇郡]

(単位：店舗数)

	2021年7月末	2022年1月末	2022年7月末	2023年1月末	2023年7月末	2024年1月末	2024年7月末	2025年7月期 上期		2025年1月末	2025年7月期 3Q		2025年4月末
								出店	退店		出店	退店	
パッドロケーション	36	33	30	29	29	26	26	2	1	27	－	－	27
関東地区	24	24	24	20	20	17	17	1	－	18	－	－	18
関西地区	10	7	7	7	7	7	7	1	1	7	－	－	7
その他地域	2	2	2	2	2	2	2	－	－	2	－	－	2
不動産デベロッパー	37	34	34	34	33	33	35	1	－	36	1	－	37
関東地区	22	19	19	19	19	18	18	1	－	19	1	－	20
関西地区	13	13	13	13	12	13	15	－	－	15	－	－	15
その他地域	2	2	2	2	2	2	2	－	－	2	－	－	2
行政・公共機関	12	12	12	12	12	12	14	－	－	14	－	－	14
関東地区	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
関西地区	11	11	11	11	11	11	13	－	－	13	－	－	13
その他地域	1	1	1	1	1	1	1	－	－	1	－	－	1
大学・その他	7	7	6	7	5	6	4	3	－	7	－	1	6
関東地区	1	1	1	1	1	1	1	－	－	1	－	－	1
関西地区	4	3	3	3	3	3	3	－	－	3	－	－	3
その他地域	2	3	2	3	1	2	－	3	－	3	－	1	2
EB事業	0	6	14	10	17	17	17	1	－	18	1	－	19
関東地区	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
関西地区	－	6	11	10	12	12	13	1	－	14	1	－	15
その他地域	－	－	－	－	5	5	4	－	－	4	－	－	4
合 計	92	92	96	92	96	94	96	7	1	102	2	1	103

決算サマリー

貸借対照表 前期末比較

(単位：百万円)

	2024年7月		2025年7月期				主な増減要因
	実績		3Q実績		前年比		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
流動資産	4,470	43.9%	7,261	53.9%	2,791	162.4%	
現金及び預金	1,851	18.2%	3,623	26.9%	1,771	195.7%	公募及び第三者割当による増資
販売用不動産	1,428	14.0%	2,205	16.4%	776	154.3%	エナビードウー工、淡路島不動産購入
固定資産	5,701	56.1%	6,206	46.0%	504	108.9%	
有形固定資産	3,862	38.0%	4,390	32.6%	528	113.7%	新店出店、新エリア開発 (BONSAI 1877、GARB Cheers OTEMACHI、&OVO)
無形固定資産	331	3.3%	347	2.6%	16	104.8%	
投資その他の資産	1,506	14.8%	1,467	10.9%	△ 39	97.4%	
繰延資産合計	0	－	15	0.1%	15	－	新株発行費
資産合計	10,171	100.0%	13,483	100.0%	3,311	132.6%	
流動負債	3,566	35.1%	2,927	21.7%	△ 639	82.1%	短期借入金 866M→300M
固定負債	3,176	31.2%	4,631	34.3%	1,455	145.8%	新店出店に伴う長期借入金の増加 2,386M→3,816M
負債合計	6,742	66.3%	7,558	56.1%	815	112.1%	
資本金	466	4.6%	1,608	11.9%	1,141	344.5%	公募及び第三者割当による増資
資本剰余金	815	8.0%	1,956	14.5%	1,141	240.0%	公募及び第三者割当による増資
利益剰余金	2,194	21.6%	2,405	17.8%	211	109.6%	
自己株式	△ 172	－	△ 172	－	0	100.0%	
非支配株主持分	125	1.2%	127	0.9%	2	102.0%	
純資産合計	3,428	33.7%	5,924	43.9%	2,496	172.8%	
負債・純資産合計	10,171	100.0%	13,483	100.0%	3,311	132.6%	
有利子負債	4,210	41.4%	5,147	38.2%	937	122.2%	

2025年7月期通期業績は売上高14,591百万円、営業利益901百万円を予想

- 既存店の業績推移（売上は2024年7月期の通期レベル、収益性は2024年7月期の下期レベルを目安としております）、2024年7月期に出店した店舗の通年寄与及び出店決定並びに検討案件の状況をもとに策定。
- レストラン事業
 - ・レストランのトータル品質を維持向上させつつ、新店の出店やインバウンド対応、新たな業態開発など、運営子会社単位で新たな取り組みを実施する。
- EB事業
 - ・南あわじレストランを皮切りに、淡路島全体を面でとらえたエリア開発を推進する。「Frogs FARM ATMOSPHERE」についてはSAKIAの地域に根付いた活動や他社との協業による新たな開発を行い、エリアの付加価値を増大させていく取り組みを実施。
 - ・出雲「WINDY FARM ATMOSPHERE」については2次開発を進めていくと共に、新たなエリアについて企画を推進していく。

(単位：百万円)

	2024年7月期				2025年7月期							
	3Q実績		前期実績		3Q実績				通期予想			
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	9,887	100.0%	13,452	100.0%	10,529	100.0%	642	106.5%	14,591	100.0%	1,138	108.5%
営業利益	516	5.2%	647	4.8%	429	4.1%	△ 87	83.1%	901	6.2%	253	139.1%
経常利益	521	5.3%	646	4.8%	403	3.8%	△ 117	77.5%	883	6.1%	236	136.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	491	5.0%	538	4.0%	282	2.7%	△ 208	57.5%	611	4.2%	72	113.6%

2025年7月期 第3四半期トピックス

◆淡路島南岸エリアにおける新規開発プロジェクト

昨年開業した全130席の2段テラスを備えたリゾートトラットリア「TRATTORIA amarancia」に続き、新たに南あわじ市阿万エリアの開発に着手。全5棟のコテージでは、部屋ごとに完備した星空を眺めながら楽しめる露天風呂や宿泊客限定で利用できるサウナを併設し、自然の美しさとレストランサービスならではのホスピタリティを融合させ、訪れるすべてのゲストに新たなウエルネス・リゾート体験を提供いたします。レストランとの連携により、わざわざ来たくなるここでしか体験できない食と自然を楽しむ時間を創出すると共に、南あわじエリアの地域活性にも寄与する取り組みを推進してまいります。

●出店概要

店舗名：amarancia cottage
hugging nature house

所在地：兵庫県南あわじ市
阿万西町字大谷 1061 番 1

出店面積：約160㎡

出店日：2025年4月15日



◆築地本願寺を正面に望む大型出店

築地駅から徒歩1分、築地本願寺を正面に望む利便性と眺望に恵まれた2フロア構成の施設です。自家焙煎コーヒーや厳選食材を使用した独自のメニュー構成で、他店との差別化を図ると共に、地域と観光地の両面における需要を取り込み、日常使いと特別なひとときを両立する新しいカフェ業態として、魅力的な価値を提供してまいります。

●出店概要

店舗名：&Ovo（オーヴォ）

所在地：東京都中央区築地2-14-6
CAMEL築地I 1・2階

出店面積：約132㎡

出店日：2025年4月28日



成長戦略

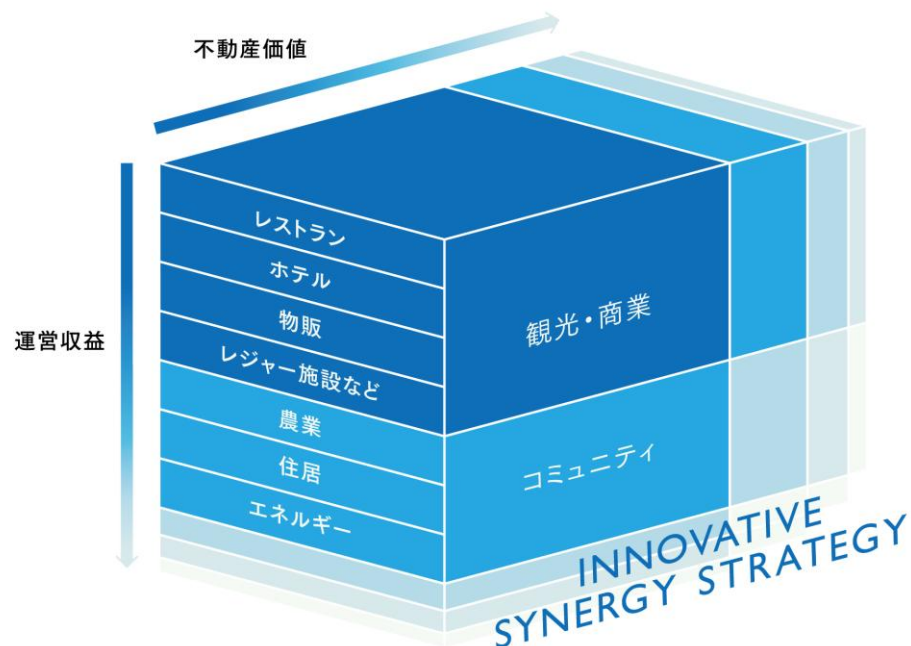
～中期経営計画 イノベーティブシナジー2029～

「レストラン事業」における「バッドロケーション戦略」での出店で培ったノウハウや知見を基に、**新たに食による地方創生を軸とした総合的なエリア開発を担うイノベーティブシナジー戦略**を基本戦略とします。

イノベーティブシナジー戦略とはレストラン事業とエステートビルドアップ事業（EB事業）を融合させ、レストランを中心として、レストラン以外の複合的な店舗や機能を一体的に開発することでエリアの価値を高めていく戦略です。私たちが考えるエリア活性化において食が持つ力は必要不可欠であり、レストラン事業における店舗開発、デザイン、オペレーションの力と、エステートビルドアップ事業が融合する事によって、新たなシナジーが生まれ、開発エリアの不動産価値を高める事に繋がります。

日本全国を対象に人々が幸せや楽しさ、そして豊かさを感じられる最高のロケーションを発掘し、飲食店や宿泊施設、レジャー、教育や地域交流が育まれる場づくりを行い、不動産価値向上によって発展する多様なキャピタルゲインとインカムゲインを取り込むことで新たな成長を目指します。

エステートビルドアップ事業



中期経営計画― イノベーティブシナジー2029（2025年7月期～2029年7月期）

当社グループは、2025年7月期から2029年7月期の中期経営計画「イノベーティブシナジー2029」を策定いたしました。なお、当社グループは今後も経営環境の変化に柔軟に対応するため、原則として每期改定を行うローリング方式の5カ年の中期経営計画として策定しております。また、今回の中期経営計画「イノベーティブシナジー2029」からは、当社が目指す10年後の目標値を継続的に開示してまいります。

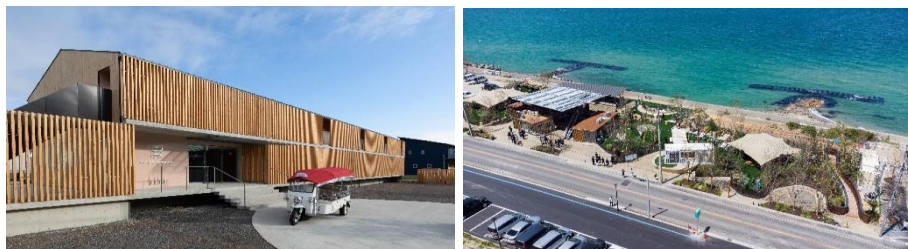
レストラン事業 (バッドロケーション戦略)

- 出店エリアを厳選した出店（年間6～8店舗）



エステートビルドアップ（EB）事業 (バッドロケーションデベロッパー戦略)

- 淡路島でのエリア開発とコミュニティ機能を強化
- 新たなエリア開発 3カ所
- 出雲2次開発

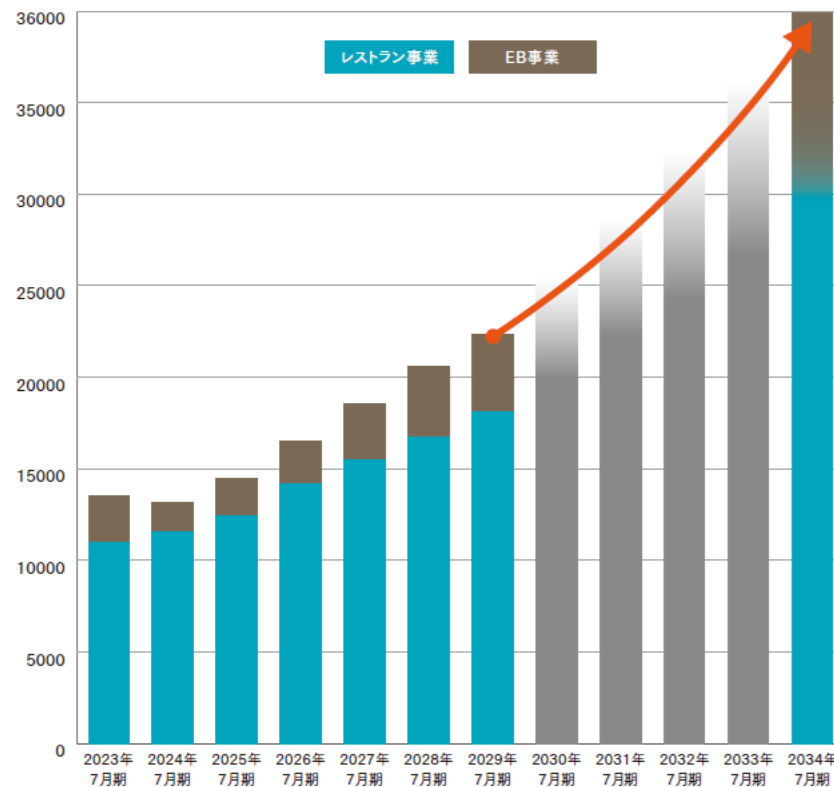


【長期経営目標】

「食で人の流れを変え地域を活性化する企業」として、2034年7月期に売上高360億円、営業利益36億円（営業利益率10%）を目指します。

長期売上目標

単位：百万円



中期経営計画― イノベティブシナジー2029（2025年7月期～2029年7月期）

売上・利益計画

2024年7月期は既存レストラン事業の収益力向上と今後の出店に対応するための組織づくりに力を注ぎ、一定の成果を出すことができました。2025年7月期からは出店・開発スピードを更に加速し、レストランについては立地を厳選して大型店を中心に6～8店舗の出店を、エステートビルドアップ事業については新規エリアで3カ所開業、既存エリアでの追加投資を実施することを見込んで計画を策定いたしました。

(単位：百万円)

	2024年7月期 実績	2025年7月期 (計画)	2026年7月期	2027年7月期	2028年7月期	2029年7月期
売上高	13,452	14,591	16,471	18,364	20,208	21,831
レストラン事業	12,069	12,457	14,037	15,197	16,307	17,597
既存店	12,069	12,457	12,357	12,207	12,057	11,907
新規店			1,680	2,990	4,250	5,690
EB事業	1,648	2,031	2,331	3,064	3,798	4,131
淡路島（西海岸）	1,005	1,183	1,183	1,183	1,183	1,183
その他エリア・不動産	643	848	1,148	1,882	2,615	2,948
営業利益	647	901	1,057	1,250	1,410	1,569
営業利益率	4.8%	6.2%	6.4%	6.8%	7.0%	7.2%
経常利益	646	883	1,032	1,225	1,385	1,544
経常利益率	4.8%	6.1%	6.3%	6.7%	6.9%	7.1%

今後の出店予定

2025年7月期以降の出店スケジュール

◆レストラン事業における出店

2024年

9月

BONSAI 1877 [京都市中京区]

京町屋をリノベーション開発

10月

GARB Cheers OTEMACHI [東京都千代田区]
十割そば 否否五杯と本家かのや[東京都渋谷区]

大手町フィナンシャルシティ サウスタワーへの出店
ダブルネーム業態への転換

12月

レストラン ダウンヒル [北海道富良野市]

北海道「富良野スキー場」における冬季期間限定出店

中華そば いのうえ 瀬戸内 淡路島[長野県北安曇郡]
ぶなキッチン・スープステーション田代[新潟県魚沼郡]

長野県北安曇郡「つがいけマウンテンリゾート」冬期期間限定出店
新潟県魚沼郡のかぐらスキー場からの誘致

2025年

4月

&Ovo（オーヴォ）[東京都中央区]

築地「CAMEL築地Ⅰ」における新規出店

6月

アンティーカ ピッツェリア ダ ミケーレ北海道 [北海道北広島市]

「Fビレッジ」における新規出店

2026年

4月

「中川運河再生計画」プロジェクト[愛知県名古屋市]
「プラウドタワー相模大野クロス」プロジェクト[神奈川県相模原市]

「中川運河再生計画」における新規出店
「プラウドタワー相模大野クロス」における新規出店

※2025年6月17日現在開示しているプロジェクトのみ記載しております。

2025年7月期以降の出店スケジュール

◆EB事業における出店

2025年

4月

amarancia cottage hugging nature house（一棟貸コテージ） [兵庫県南あわじ市]

南あわじ市における新規出店

秋

一棟貸コテージ [兵庫県淡路市]

食を通じた地方創再生プロジェクト「Frogs FARM」

2026年

秋

南あわじ阿万ホテルプロジェクト[兵庫県南あわじ市]

南あわじ市における新規出店

2028年

11月

伊予プロジェクト [愛媛県伊予市]

愛媛県伊予市森・三秋エリアにおける開発

※2025年6月17日現在開示しているプロジェクトのみ記載しております。

株主還元

●配当について

2025年7月期につきましては、中間配当を1株当たり2.5円、期末配当を1株当たり5円の普通配当を予定しております。

●株主優待制度について

- 対象
毎年7月末日時点で単元株以上をお持ちの株主様
- 導入時期
2023年7月末日から
- 株主優待内容

①すべての株主さま

保有株式数	ご優待金額
100株	3,000円電子チケット
200株	6,000円 "
300株	9,000円 "
400株	12,000円 "
500株	15,000円 "
600株	18,000円 "
700株	21,000円 "
800株	24,000円 "
900株	27,000円 "
1,000株	30,000円 "

②長期継続保有の株主さま＜応募式抽選会＞

当社の定めた基準日（毎年7月末日）から起算して権利確定日まで、株主名簿に同一株主番号かつ100株以上を継続して記載された株主様を対象に、年4回の応募式抽選会を開催いたします。

権利確定日	開催月（予定）	当選連絡（予定）
10月末日	11月	12月
1月末日	2月	3月
4月末日	5月	6月
7月末日	8月	9月

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料（業績見通しを含む）は現時点で入手可能な信頼できる情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものでありますが、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なることが起こりえます。

IRに関するお問い合わせ

株式会社バルニバービ 経営管理部

TEL:06-4390-6544

Email:ir@garb.co.jp



BALNIBARBI